

SEISYUN 2

vol.545

〈特集〉

地区別代表者集会の 主なご意見・ご要望と回答



JA西春日井
<https://www.ja-nishikasugai.com/>



あなたも地域農業の担い手に! アグリマルシェはるひ

産直部会員



募集中!

農産物直売所へ

出荷してみませんか?



JA西春日井では、地域農業の振興や農家所得向上の実現に向けて、農産物直売所「アグリマルシェはるひ」を運営しています。

安全・安心・新鮮な農産物が手に入る、生産者の顔が見える店として、リピーターも増加中! アグリマルシェはるひでは、農産物や加工品を出荷する産直部会員を随時募集しています。

丹精込めて育てた野菜を販売し、地域農業の担い手として活躍しませんか?

家庭菜園程度で市場出荷するほどでもないという方も大丈夫です!

出荷に興味のある方は、ぜひお気軽にご相談ください!



▲売り場では、産直部会員専用のエプロンを着用します。

出荷商品の一例

- 季節の野菜や果物、花き
- 切り干し大根等の加工品
- 野菜苗 など



ここがポイント!

- ①収入だけでなく、やりがいや達成感が得られる
- ②自慢の農産物を消費者に食べてもらえる
- ③消費者との距離が近い
- ④生産者同士の情報交換が行える
- ⑤JA職員による営農指導が受けられる
- ⑥栽培講習会に参加できる (年数回)
 - ・春夏野菜栽培講習会
 - ・秋冬野菜栽培講習会
 - ・果樹栽培講習会
- ⑦研修旅行に参加できる (年1回)
- ⑧フードバンクとの連携による子ども食堂への野菜提供など、フードロス削減、SDGsへの取組に貢献できる

―出荷をお考えの皆さまへ―

産直部会加入に関する条件等、詳しくは営農部販売課(TEL:0568-23-4005)又はアグリマルシェはるひへお問い合わせください。

アグリマルシェはるひ基本情報

- 営業時間: 午前9時~午後5時
- 定休日: 毎週水曜日、年末年始
- 所在地: 清須市春日振形127
- TEL: 052-400-8311

＜土壌診断料金改定のご案内＞

人件費や資材コストの上昇に伴い、令和7年4月1日より土壌診断料金を改定させていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

| 改定額 (税別) | 現行料金 | 新料金 |
|----------|--------|----------|
| | 500円/点 | 1,000円/点 |

■ 改定時期 令和7年3月21日サンプル到着分から

地区別代表者集会の 主なご意見・ご要望と回答

JA西春日井は、昨年10月から11月にかけて地区別代表者集会を開催し、総代をはじめ各組織代表の皆さまから、貴重なご意見やご質問、ご要望をいただきました。今月号では、地区別代表者集会でいただいた主な意見・要望と回答をご報告します。当組合は、組合員等皆さまとの対話を、組合運営における重要事項と位置付けています。皆さまの声を真摯に受け止め、今後の組合運営に生かしてまいります。

Q JAが示した米の価格は概算金なのか。また、今後の米価格の見通しはどうか。
(清洲)

A 当JAでは、米の買取販売を行うっており、買入価格となります。また、今後の価格については、令和6年産早場米が前倒しで出荷された影響で令和7年も同様に流通在庫が不足するおそれがありますが、価格が高騰したことにより消費が減少する可能性もあるため、見通しが立たない状況です。

Q 「JA西春日井農業ビジョン」の策定から相当年数が経過しているが、現状はどうなっているのか。
(西枇杷島)

A 「JA西春日井農業ビジョン」は10年後の管内農業の目指す姿を定め、自己改革の実践により地域農業の維持・発展を図るものです。策定から約8年が経過しており、10年を迎える令和8年度には新しい農業ビジョンの策定を予定しています。



Q 実行組合内で配付される文書の記載内容について、実行組合長が取りまとめるのか、各自が支店窓口で提出するのか分りづらい。記載内容を改善してほしい。
(新川)

A 実行組合ごとに提出方法が異なるため、記載内容が分りづらい表現となっています。今後、改善等を検討してまいります。

Q 実行組合のことがよく分からない。実行組合の構成員はJAの組合員が大半を占めているので、実行組合の運営にJAはもっと積極的に関与してほしい。
(新川)

A 実行組合は地域の組織として設立されており、その趣旨から運営に直接関与することはできません。JAは総代・役員候補者の選出や農業資材の注文取りまじめにおいて協力をいただいています。

Q グリーン西春日井店員の接客対応に気分を書したのを改善してほしい。
(西枇杷島)

A 誠に申し訳ありません。今後は職員教育を徹底してまいりますので、引き続きご利用いただけますようお願いいたします。

Q 実行組合の回覧で肥料の注文取りまとめ用紙が届くが、配付数が多すぎる。
(師勝)

A 西枇杷島地区から青山地区のうち15か所まで玄米のサンプルを採取し、等級検査を実施しました。検査の結果、13か所で一等米の基準を満たすことができなかったため、カントリーエレベーターから出庫する令和6年産米は、すべて二等米として取り扱っています。



Q お米を購入する際に割引はあるのか。
(西枇杷島)

A 毎年12月頃に年間契約を申し込んでいただくと、割引価格で購入することができません。なお、今年度の申込みは終了しておりますのでご了承ください。

A 資料の配付部数については、ご要望に応じて調整させていただきます。支店にご連絡ください。

Q 農林中央金庫の増資要請に対して、JA西春日井はどのように対応するのか。また、農林中央金庫の役員の去就や報酬はどのようになるのか。
(青山)

A 農林中央金庫に増資した愛知県信連から、当JAに対して29億2,363万円の増資協力要請があり、令和6年11月の理事会において承認されました。今後は、剰余金を原資とした愛知県信連への預け金から、外部出資として拠出します。また、農林中央金庫の役員については、このような事態になった責任を深く痛感したうえで、報酬の一部減額することにも、収支・財務の回復の見通しが立つまでは、現行体制でしっかりと取り組んでいく方針と聞いています。

Q JAでは掛け捨ての火災共済を取り扱っているか。
(清洲)

A 当JAでも掛け捨てタイプの火災共済を取り扱っておりますが、自然災害や地震に対する保障がありませんので、満期共済金がセットになった建物更生共済のご加入をおすすめしています。

Q 令和6年度上期損益計算書について、年度末の決算と出資配当金の見通しはどの程度か。また、職員の昇給率はどの程度か教えて欲しい。
(西枇杷島・青山)

A 上期の事業管理費は、特殊要因としてシステム更新費用を計上しましたが、年間の計画値の50%を下回り、当期剰余金は計画値の70%を上回ることができました。出資配当金は総代会の承認事項となりますが、前年の配当率を下回ることはないよう、当期剰余金は計画値で100%超を目指して事業運営を進めてまいります。また、職員の昇給率はベースアップにより実質4.3%となっております。

Q 店舗再編の可否を判断するために店舗別の収支を公開してほしい。
(新川)

A 営業店別の損益については、明確に集計することが困難なため公開していません。なお、店舗再編については、令和3年度に設定した取扱高等による再編基準に基づき検討を進めてまいります。

Q 実行組合員は減少しているのに総代定数は変更しないのか。
(西枇杷島)

A 正組合員が年々減少しているなか、総代定数は正組合員の幅広い意見を集約するため変更しておりません。今後については、既に実施した役員定数の削減と同様に総代定数の削減についても検討を進めてまいります。

Q 総代会資料が総代会の前と後に2回送られてきたが、費用の無駄だと思う。
(新川)

A ご意見誠にありがとうございます。総代会方には総代会開催前に資料を送付しております。また、総代会終了後には出資配当金の通知に併せて全ての正組合員に資料を送付しております。二重送付にならないように今後検討してまいります。

Q 准組合員意見交換会で准組合員から収集した意見は、どのように事業運営に反映させているのか。
(西枇杷島)

A P-D-C-A(計画、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善))の頭文字を取った用語で、4つのサイクルを繰り返すことにより、業務を継続的に改善していく手法のことです。

A 今年度実施した准組合員意見交換会では、農産物産直店舗「アグリマルシェはるひ」の運営に関する意見をいただきました。いただいた意見はアグリマルシェはるひの店舗運営に活用してまいります。



地域農業への関心もつと高めて 准組合員料理教室で地産地消PR

J A西春日井は11月27日と28日、准組合員料理教室を開催し、准組合員ら16人が参加しました。

今回の料理教室は、准組合員の農業・農協に対する理解醸成と参画、意思反映を目的に、自己改革の一環として実施したものです。

冒頭のあいさつで丸山組合長は、地域農業への理解と地元農産物の積極的な消費を参加者に呼びかけ、企画管理部の職員が准組合員の位置付けや役割について説明しました。

参加者は、清須市産ホウレンソウなどを使った料理3品を調理。試食を楽しみ、産直の利用、情報発信、J Aへの期待などに関するアンケート調査に協力しました。



▲調理の様子



令和6年度 農業感謝祭 第72回農林畜産物品評会

昨年12月、名古屋市の熱田神宮境内で熱田神宮豊年講とJ A愛知中央会の主催による第72回農林畜産物品評会が行われました。

県内各地域から農産・畜産、園芸、畜産、林産など1,772点の応募があり、生産者が栽培技術を競いました。

J A西春日井からは前回を上回る42人の生産者が合計72点を出品。審査の結果11点が入賞を果たし、石黒ふじ江さん(清須市)出品の小松菜が愛知県農協中央会長賞に選ばれました。



▲愛知県農協中央会長賞を受賞した石黒さん



特産物の生産拡大につなげる エダマメ栽培講習会

営農部は12月11日、出荷組合員を対象としたエダマメ栽培講習会を西春支店で開きました。

講習会は、昨年多く発生が確認されたカメムシやダイズシストセンチュウへの防除対策をテーマに行われ、県農業改良普及課職員が、被害状況や害虫の生態、防除のポイントについて説明しました。

そのほか、農薬についての注意喚起も行われ、参加者は適正使用に関する資料を確認しました。



▲講習会の様子



ホウレンソウの品質向上目指し 拠点調査ほ事業で審査会

営農部は12月10日、ホウレンソウ審査会をJ A西春日井野菜予冷施設で開き、県職員、種苗メーカー、J A関係者が参加しました。

この事業は、管内の主力品目であるホウレンソウの生産維持に向け、種苗メーカーと生産者の協力を得て取り組むもので、9品種について試験栽培を行いました。

審査は、圃場内での立毛状態と収量、品質などを参加者各人が採点し、総合計で順位を決める方法で実施されました。

審査結果は、べと病対策や在圃性、低温伸張性などの面から品種選定の参考とされ、今後のホウレンソウ栽培に生かされます。



▲圃場で立毛状況を確認する参加者



NEWS & TOPICS みのにん通信

啓発品に地元産シイタケ 特殊詐欺未然防止活動

J A西春日井は年金支給日の12月13日、全金融店舗で特殊詐欺未然防止に向けた啓発活動を行いました。

西春支店では、西枇杷島警察署生活安全課の協力により、J A職員と警察官が連携して窓口やATM利用者へ特殊詐欺への注意を呼びかけました。

この日は、啓発品として清須市産のシイタケを全店合計で200個用意。チラシとともに手渡し、管内農産物の消費拡大をPRしました。

- ① …知らない電話やメール
- ② …今まさに
- ③ …だまされているかも?
- ④ …警察に相談を!



▲啓発活動の様子(西春支店)



伝統野菜「宮重大根」を守りつなぐ 次期作へ保存会が母本選抜

清須の伝統野菜「宮重大根」の普及と保存に取り組み清須市春日宮重大根純種子保存会は12月18日、J A西春日井野菜予冷施設で次期作に向けた種採取用の母本選抜を行いました。

例年、同保存会の会員数名が、自家栽培した宮重大根を持ち寄り、その中から姿や形などを見極めて種採取用を選抜します。それを各人が持ち帰って再び土に植え直し、次期作用の種を採取するのだそうです。

こうした皆さんの活動によって、地域の伝統が大切に守られています。



▲収穫した宮重大根を運び込む様子



「生前整理」テーマに講演 J A西春日井キャピタル部会

J A西春日井キャピタル部会は12月18日、外部講師による研修会を西春支店で開きました。

研修会では「生前整理」をテーマに、生きた方整理コンサルタントの講師が生前整理の目的や不要品を仕分ける際のポイント、自分自身との向き合い方などについて説明しました。

参加者は、講師の話を興味深く聞いていました。



▲研修会の様子



自作のしめ縄で新年を しめ縄作り体験会

営農部は12月26日、アグリマルシェはるひ隣の営農倉庫でしめ縄作り体験会を開き、8人が参加しました。

材料には、しめ縄用に青刈りし乾燥させたワラを使用。営農部の職員が、実演しながら作り方を指導しました。

参加者は、ワラをよる作業に苦戦していましたが、講師に助けってもらいながら気持ちを込めてしめ縄を完成させ「手作りのしめ縄で新年を迎えられてうれしい」と笑顔を見せていました。



▲しめ縄作りの様子



わが家のげんキッズ!



はるき
河村 悠生くん 2歳

- ★好きな食べ物：納豆
- ★お気に入り：お月様
- ★好きな遊び：すべり台



—ご家族からのメッセージ—

**わが家の完全無敵のアイドル!!
まっすぐ元気に大きくなってね☆**



青山支店管内
河村 米光さんのお孫さん

農をつなぐ

—管内の生産者の皆さん—



よしてる
池山 善照さん (北名古屋市)
JA西春日井産直部会員

生産者さんにインタビュー!

- ▶出荷する農産物 ホウレンソウ、コマツナ、キャベツ、ハクサイ、ダイコン、ニンジン、カボチャ、コメ
- ▶出荷先 アグリマルシェはるひ
- ▶農業歴
水稲栽培は15年ほど。野菜類は力を入れはじめて2年になります。
- ▶これまでの農業を振り返って
まだ勉強不足な点が多く、父親が健在なうちに栽培方法などについて、もっと聞いておけばよかったと後悔しています。実際に農業を始めてみると、露地栽培は天候をみながらの作業になるので難しいと感じています。ホウレンソウが最初に売れたときは、うれしかったです。
- ▶農業への活力源
たまの晩酌とカラオケです。若い頃はツーリング、今は数独にハマっています。
- ▶農業で大切にしていること
皆さんにより安心して食べてもらえるよう減農薬栽培を意識することです。
- ▶読者へメッセージ
退職前60代・70代の皆さん、農業もやってみると面白いですよ。健康のためにもぜひチャレンジしてみてください!



ウチの人気者!

カニヘンダックスフント

ちやちや
茶々

(2歳 ♂)

清洲支店管内
飼い主：大塚 純一さん



ぬいぐるみや
ボールで遊ぶのが
好きなんだ!

🐾飼いはじめたきっかけ
— 妻の一目惚れ

🐾性格
— さみしがりや。移動する際は、一緒についてくるほどです。

🐾好きな食べ物
— 鶏肉、砂肝の燻製

🐾可愛いしぐさ
— 帰宅時に出迎えてくれるところ

🐾飼い主さんから一言
— いつまでも元気で長生きしてね!

お楽しみします

Vol. 304



阿原支店管内
横井 久子さん

**カラオケ
始めました!**

横井さんは今から1年ほど前、友人に誘われてカラオケを始めました。以前から「一度は人前で歌ってみたい」と思っていたそう、歌うことで度胸がつき、歌詞を覚えることは脳トレにもなると感じています。去年3月、初めて舞台上がり人前で歌った時のことが思い出深いとか。横井さんは「まだ活動を始めたばかり。これから色々な曲を覚えて、もっとカラオケを楽しみたい。今は3月の発表会に向けて練習中です!」と笑顔で話しました。





営農情報

ミカンのせん定



尾張農林水産事務所
農業改良普及課
技師 山本 大地

ミカンは、昔から日本人に親しみがある果樹類の一つで、代表的な品種に温州ミカンがあります。ミカンの収穫時期により、極早生、早生、中生、晩生など品種があり、それぞれの特性によりせん定方法が変わります。また、ミカンは、よく成る年(表年)とほとんど成らない年(裏年)が交互になりやすい樹種の代表です。家庭栽培で良く見かけるミカン(宮川早生)について、毎年成らせるためのポイントとせん定を紹介し

■ミカンの結果習性
ミカンは図のとおり、発育枝の頂芽およびそれに続く2〜3芽から出た新梢の先端に花芽がつきます。毎年しっかりと発育枝を確保することが大切です。

■毎年成らせるポイント

- (1) 表年に成らせすぎない
たくさん成っている樹は早めに、葉っぱ20〜25枚に1果を目安に果実が成るようにしっかりと摘果し、樹の負担を減らしましょう。
- (2) 表年と裏年で切り方を変える
表年が予想される場合、つまり、前年にあまり成らなかった場合、せん定により発育枝を切り、花芽を減らすことで、成らせすぎを修正しましょう。逆に裏年が予想される場合はせん定量を減らします。

■せん定の実際

- (1) せん定する時期
ミカンのせん定は厳寒期を過ぎた3月以降に行います。強い寒さが続くときは、この時期にこだわらず、必ず寒さが和らいでからせん定作業を行います。花芽が少ないと予想される場合は、4月下旬に花の蕾が見えてきてから行うとせん定しやすいです。
- (2) 幼木期のせん定
ミカンは、1年生苗木を植えた場合、地上部から30cm程度で切り返します。2年目には3〜5本の強い枝と数本の弱い枝が発生します。

主枝は3本必要ですが、早くから主枝を決めて他の枝を切ると、生育のための葉数が足らず、樹全体の生育が悪くなるので、数年間は候補として4〜5本の枝を残し、分岐の角度や間隔と伸び具合を見ながら最終的に3本にしましょう。主枝が決まったら支柱を使って均等に誘引しましょう。

幼木時代は樹冠の拡大を図ることが重点であり、主枝を決定する他、枝葉をできるだけ多く残して生育を早めることを念頭に置いてせん定をしましょう。

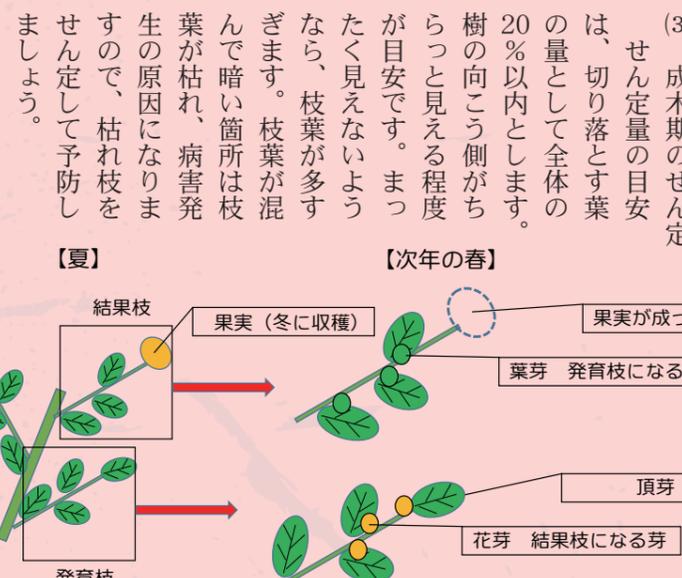


図 カンキツ類の結果習性

春まきキャベツ 育苗管理が肝心



あなたもチャレンジ！家庭菜園

キャベツなどのアブラナ科野菜は夏まき栽培が一般的です。しかし、低温期に種まきをする春まき栽培では、早期に花茎が伸びて収穫できないことが起きます。適切な品種を選び、苗作りでの温度管理を上手にすれば、初夏に収穫する作型を成功させることができます。

【品種】とつ立ちしにくい晩抽性と収穫期の高温を避けられる早生性を兼ね備えた品種を選びましょう。

柔らかくジューシーな春系の「春波」(タキイ種苗)、「中早生一号」(サカタのタネ)などがおすすめです。

35度で、適温は20〜25度です。その後の温度は、日中15〜20度、夜間5〜10度を確保します。そのため、トンネル内に温床マットなどで温床を作り、最低10度を目安に加温しますが、日中は25度以上にならないように換気をします(図1)。7・5〜9cmポリポットに3、4粒まきし、本葉2枚で1本とし、本葉5、6枚の大苗に仕上げます(図2)。

100gを施し、土とよく混ぜて畝を立てます(図3)。

【植え付け】時期はソメイヨシノが開花する頃(気温10度以上)に、株間40cmに植え付けます(図4)。

【追肥】結球期まで肥効が残らないように、定植後2週間程度で株の周りに化成肥料を1株当たり10gくらいまいて、株元に土寄せします。

【病害虫の防除】気温が上がるとアオムシ、コナガの発生が多くなるので、BT剤などで防除します。

【収穫】球が固く締まる前に早めに収穫します(図5)。

栽培カレンダー(春まきキャベツ)

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 冷涼地 | | ● | ● | ▲ | ■ | ■ | |
| 中間地 | | ● | ● | ▲ | ■ | ■ | |
| 暖地 | ● | ● | ▲ | ■ | ■ | | |

● 種まき ●●● 苗作り ▲ 植え付け ■ 生育 ■ 収穫

図1 加温育苗

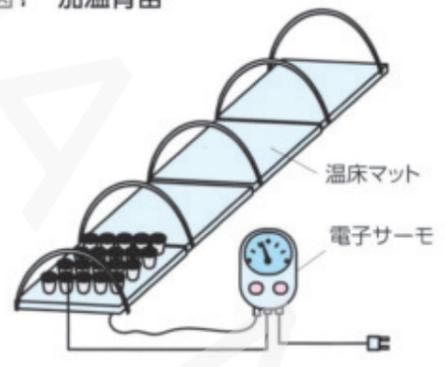


図2 苗作り

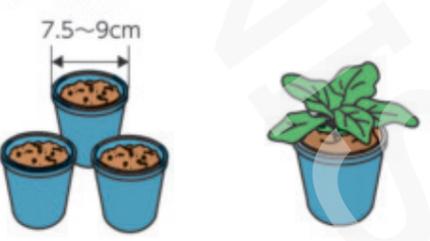


図3 畑の準備

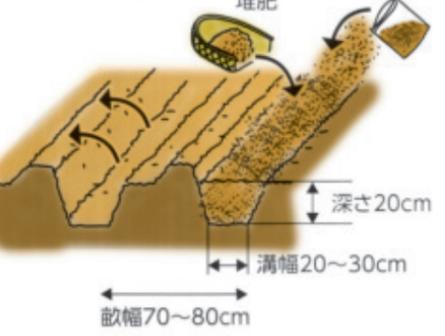


図4 植え付け



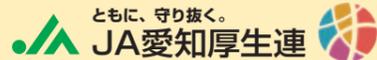
図5 収穫



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

園芸研究家●成松次郎

JA愛知厚生連 江南厚生病院 看護学生対象病院説明会開催情報



江南厚生病院では看護学生さんを対象に2026年4月採用に向けての病院説明会を開催します。
病院概要の説明、先輩看護師とのグループトーク、院内見学に参加できます。

| 開催日 | 申込締切日 |
|----------|----------|
| 2月15日(土) | 2月7日(金) |
| 3月8日(土) | 2月28日(金) |
| 3月22日(土) | 3月14日(金) |
| 4月12日(土) | 4月4日(金) |
| 5月10日(土) | 5月2日(金) |



参加をご希望の方は江南厚生病院看護部ホームページの「応募フォーム」よりお申し込みください。
応募フォーム：<https://bzform.jp/konankosei>
また、1day仕事体験の予約も受け付けています。江南厚生病院の雰囲気、看護のシゴトを体感してください。

【お問い合わせ先】

江南厚生病院 看護管理室 愛知県江南市高屋町大松原137番地
TEL：(0587)51-3332(直通) 平日9時30分から16時30分まで対応
参加希望日の2週間前までに右記応募フォームよりお申し込みください。



応募フォーム▶

2月 行事予定

- 3日(月) 農業所得申告相談会(西春支店)
- 4日(火) 農業所得申告相談会(西春支店)
- 5日(水) 農業所得申告相談会(師勝支店)
- 6日(木) 農業所得申告相談会(師勝支店)
- 13日(木) 法務相談(本店)
- 15日(土) 春さきどりセール
- ~18日(火) (アグリマルシェはるひ)
- 19日(水) 年金相談会(西春支店)
- 20日(木) 年金相談会(新川支店)

☆休日ローン相談会 1日、8日、15日(西春支店)
☆法務相談のお申し込みは営農部開発相談課まで(要予約) TEL：0568-23-4056

理事会だより

(令和6年12月25日開催)

決議事項

- 第1号議案 臨時雇用者就業規則の一部変更について
- 第2号議案 中央会期中監査実施結果報告書に対する改善状況確認書について

上記議案について原案の通り可決承認されました。

編集後記

新しい年を迎えて1か月、寒さが続くなか、春の訪れが待ち遠しいところです。
さて、2月といえば節分。ご家庭で豆まきをされる方も多いのではないでしょうか。
わが家では少量の豆をまき、焼いたイワシの頭とヒラギを一緒にして玄関先に飾るのが毎年の恒例。意外にも一年間形を保って残っているため、ご利益を感じずにはいられません。
今年も豆まきで邪気を払い、福を招き入れたいと思います。(や)

JA西春日井 農産物直売所 お知らせ!

アグリマルシェはるひ

春さきどりセール

〈セール期間〉

2月15日(土)
~2月18日(火)



産地直送の新鮮野菜が盛りだくさん!
セール期間中だけのお値打ち品も多数
ご用意しております。
ぜひ、お買い物にお立ち寄りください!

営業時間外の緊急連絡先

— 24時間、365日対応 —

- キャッシュカード・通帳などを喪失(紛失・盗難)した時は・・・
JAの安心コール
フリーダイヤル 0120-089-286
- 事故等の場合には・・・
JA共済事故受付センター
フリーダイヤル 0120-258-931
- プロパンガスのメーターに関するトラブルは・・・
名古屋プロパン瓦斯夜間受付センター
連絡先電話番号 0568-79-1002

アグリスクール活動日記

第17講 12月27日 収穫等販売準備 12月28日 採れたて朝市

【主な内容】

12月28日、西春支店駐車場にてアグリスクール「採れたて朝市」を開催しました。このイベントは、受講生が実習の中で栽培した野菜を自ら販売する生産者体験の一環として行われています。

受講生は、研修農園で収穫したハクサイ、キャベツ、ニンジン、ダイコンなどをブースに並べ、買い物客と会話を楽しみながら積極的に販売に取り組んでいました。

採れたて朝市の売上金は、医療支援のためJA愛知厚生連江南厚生病院に全額寄付します。

収穫の様子【12月27日】



朝市の様子【12月28日】



支店通信

西春支店

2025.2

西春支店では、組合員・利用者の皆さまに、JAバンクの「よりよい活動」、JA共済の「あんしんチェック」の2つに重点を置いた取組を実施しています。これらは、組合員・利用者皆さまへのアンケートや対話などのコミュニケーションをきっかけに、取引内容の再確認、また疑問・不安の解消を目的として行うもので、今後もJAの各事業を安心してご利用いただけるよう、職員が適宜ご案内しています。

些細なお困り事でもお気軽にご相談ください!

私たちが精一杯対応させていただきます😊

